

# 20. 小さな現場でこそ光る建設維新ICT3.0

推薦整備局等	中国地方整備局
地方公共団体名	山口県
取組主体	山口県

## 【取組概要】

山口県が進める「建設維新ICT3.0」は、地方の中小建設会社でも実践できる、身近で実用的なICT活用を重視したプロジェクト。国土交通省が推進するi-Construction2.0を踏まえつつ、小規模現場でも効果を実感できる制度づくりに取り組み、県発注工事だけでなく、市町発注工事を含めた地域全体で建設DXを推進している。

ICT活用工事が地方で広がりにくい背景には、誤解や外注依存といった課題がある。こうした課題を解消するため、技術導入だけでなく業務プロセスの見直しも進め、省人化・生産性向上や働き方改革を目指している。さらに、指定型の拡大、体験型セミナー、SNS発信、市町支援など、多面的な現場主導の取組で、持続可能なインフラ整備を後押ししている。

## 建設維新ICT3.0～10の取組み～

### ①内製化支援プロジェクト～私たちはできる型～

- ・ICT活用工事に取り組むことが原則
- ・3次元設計データ作成外注不可。
- ・発注者の負担で取組みを全面的にサポート



### ②発注者指定型の導入と拡大

- ・ICT建機を使うことがICT活用工事ではないこと、ICTの活用は現場の規模を問わないというメッセージを出すため、**土量や金額による制限は設けない**方針

#### ■発注者指定型の対象

- ・3次元データが準備されている工事（全ての工種を対象）
  - ・河川土積砂利活用工事（ICT土工）
  - ・路盤工事（ICT舗装工）
- ※TSによる出来形管理も可！

### ③建設現場の生産性爆上げイベント

- ・令和6年度は40以上のイベント
- ・参加者は約2,000人以上！
- ・令和7年度国土交通白書に掲載された*3D Navi*を使って拡散！



### ④建設維新ICTセミナーのアップデート

- ・より小規模現場で実現するICT活用工事について学び、**内製化**を促進するためのセミナーにアップデート



### ⑤“はじめ”“ホンキ”“極み”体験会

- ・熟練度に応じた体験会を開催
- ・これまで30回以上の開催
- ・約1,000人が参加



### ⑩SNSによる情報発信

- ・建設産業の魅力や取組みに関心を持つてもらい、理解や信頼の向上、将来の担い手確保につなげるために、SNSを活用した情報発信を実施
- ・令和7年5月にフォロワー数2000超



- 地方の中小建設会社でも実践可能なICT活用を推進し、生産性向上と技術力の底上げを実現。ICT工事件数や実施企業は年々増加し、研修や体験会には産学官が幅広く参加。SNS発信による普及や建設業のイメージ改善にも効果を發揮。
- 地方建設業の実情に即した先進的なICT活用モデルであり、「内製化」を条件とした発注者指定型ICT工事や、機材不要のセミナーにより中小事業者でも取り組みやすい仕組みを構築。さらに、市町を対象とした個別支援プロジェクトを展開し、実践的な成果を創出。
- 高額なICT建機や専門人材を必要としない「身の丈に合ったICT活用モデル」であり、他自治体でも即時導入可能な点で波及性が極めて高い。

### ⑥建設維新ICT支援プロジェクト

- ・人口5万人規模の下松市が発注する現場を対象に支援を実施
- ・3次元設計データ作成や、3次元点群データ利活用について、受発注者が**かーと**となって学ぶ
- ・令和7年度は光市と周南市でも実施



### ⑦建設維新ICT勉強会

- ・発注者自身も最近の動向や監督・検査業務における実施内容を学ぶ必要あり
- ・3次元データを身近に感じもらうためのイベントも開催



### ⑧建設維新ICT動画の公開

- ・多くの経営者に建設業界の課題やICT活用の必要性を届けるため、同じ立場の経営者が中心となって語る動画を制作



### ⑨建設維新スリム化セミナー

- ・建設現場の生産性向上には、ICTの活用に加え、書類の**スリム化**や各種雑務の効率化といった現場支援の取り組みも不可欠

